

東京経大会誌

第 73 号

保有利得とインフレーション

——発生主義会計の展開とジレンマ—— 久木田 重 和 (1)

近代会計学の目的論的性格—リトルトン理論の構造

——現代会計思想研究 (2)—— 田 中 章 義 (29)

「奢侈」ならびに「豪奢」に関する

ボードの二つの論文 渡 辺 輝 雄 (61)

1971年11月

東京経済大学

執筆 者 紹 介 (掲載順)

久木田 重 和	本 学 講 師
田 中 章 義	本 学 助 教 授
渡 辺 輝 雄	本 学 教 授

東京経大会誌 第73号

1971年11月1日 印刷

(非売品)

1971年11月15日 発行

編 集 志 田 明
代 表 者

編 集 東 京 経 大 学 会 誌
発 行 人 編 集 委 員 会

東京都国分寺市 東京経済大学内

印刷所 伊坂美術印刷所

印刷者 伊坂一夫

東京都中央区霊岸島1丁目1番地

THE JOURNAL
OF
THE TOKYO COLLEGE
OF ECONOMICS

No. 73

Articles

Holding Gains and Inflation

—An Evolution in Accrual Accounting and One Dilemma—

.....Shigekazu Kukita (1)

Teleological Character of Modern Accounting

—On the Structure of Littleton's Theory—

.....Akiyoshi Tanaka (29)

Baudeau's Two Treaties on Luxe and Faste

.....Teruo Watanabe (61)

THE TOKYO COLLEGE OF ECONOMICS

Kokubunji-shi, Tokyo

1971